



鶉小だより



学校の教育目標 ○進んで学ぶ子 ○思いやる子 ○がんばる子 ○健康な子
重点教育目標 「主体的に学びに向かう力、思いを伝える力の育成」
～特別な1年を 最高の1年に～

鶉小学校学校通信 No. 1
令和6年4月24日発行

特別な1年を 最高の1年に

鶉小学校長 井田 昌之

例年と比べるとかなり早い雪解け、観測史上最高の気温を記録した令和6年の4月、厚沢部町立鶉小学校の最後の1年がスタートしました。

6日（土）、全校児童11名が元気に登校し、着任式・始業式に参加しました。

着任式では6年生からの歓迎の言葉の中にも、鶉小学校が今年度で閉校になるとありました。

もちろん閉校することは寂しいのですが、子どもたちには、この特別な1年をよい意味で思い切り楽しんでほしいと思っています。

そして令和7年3月26日に一人一人が1年を振り返った時、それぞれの子どもにとって最高の1年になってくれるといいなと思っています。

始業式で、私から子どもたちには「特別な1年を 最高の1年に」という1年間の目標を話しました。修了式の日、一人ずつにどんな1年だったかを尋ねるのが今から楽しみです。

この「特別な1年を 最高の1年に」という言葉は、重点目標「主体的に学びに向かう力、思いやる力の育成」のサブテーマにしています。

子どもたちが最高の1年と感ずることができるよう、鶉小学校教職員10名が全力で子どもたちを支援して参りたいと考えております。

保護者、地域の方々にも、令和6年度の鶉小学校で一人一人の子どもに寄り添った教育活動を行うため、この1年いろいろな場面で御協力をいただくことがあろうかと思いますが、よろしくお願ひします。



育活動を行うため、この1年いろいろな場面で御協力をいただくことがあろうかと思いますが、よろしくお願ひします。

転入職員紹介

校長 井田 昌之（いだ まさゆき）*前任：檜山教育局義務教育指導班主査



この度の人事異動で、檜山教育局から参りました、井田と申します。学校間の異動でない先生はあまりいないので、新聞等で見たときには「一体どんなやつなんだ？」と思った方も多いかもかもしれません。一言で言うと、先生方が子どもたちによりよい指導ができるよう、お手伝いをするところが教育局です。（実際、昨年7月、鶉小学校を訪問させていただきました。）

12年ぶりの学校現場ですが、ふるさとである厚沢部町の学校に赴任できたことを大変、嬉しく思っています。

11人の子どもたちと10名のスタッフと一緒に、私自身も最高の1年になるよう、がんばって参りますので、よろしくお願ひします。

教諭 伊藤 秀美（いとう ひでみ）*復職



3年間の北海道教職員組合檜山支部専従を経て、鶉小学校に戻ってまいりました。4月から5年生わかば学級の担任をしております。久しぶりの学校勤務ということで、チャイムの音も新鮮に聞こえます。初めましての3・4年生、自分のことを覚えてくれていた5・6年生と、毎日楽しく過ごしています。学校外で学んだことを活かし、鶉小学校の11人と共に、最高の1年を過ごしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

事務職員 米田 和子（よねた かずこ）



このたびご縁をいただき、三角屋根の時計塔のある鶉小学校に事務職員として参りました米田和子（よねたかずこ）です。小学校の事務も、複式学級も鶉の町も初めてのことばかりで、教職員の方や学校関係者、児童の皆さんに助けられてがんばっています。

児童11人と教職員10人の小さな学校ですが、初日の始業式には、心が洗われるような校歌の斉唱を聞かせていただきました。校歌にあるような豊かな自然の中で、鶉小学校の春夏秋冬を堪能したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

公務補 由利 喜久美（ゆり きくみ）



公務補として働くことになりました由利喜久美といひます。最近はパン作りやスイーツ作りにはまっています。鶉小の子供たちは元気で、あいさつもきちんとできて、一輪車やマラソンを一生懸命頑張っていて凄いい思ひました。一年間どうぞよろしくお願ひいたします。